

2020（令和2）年9月1日

登録会員各位
関係各位

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

競技シューズのルール改正について（お知らせ）

世界陸上競技連盟（WA）がシューズの厚さのルールを改正しました。

WPA ルールで実施される「WPA 公認第 31 回日本パラ陸上競技選手権大会」から、改正されたルールを適用いたします。

なお、靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められませんのでご注意ください。

添付資料を参考にしてください。よろしく願いいたします。

種目	ソールの最大の厚さ (TR5.5、注意(i), (ii), (iii) 及び、TR5.5 の図 (a) 並びに (b) TR5.13.3 に基づく)	補足
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
800m 未満のトラック種目 (含むハードル)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。競歩種目ではロード種目と同様とする。
クロスカントリー	25mm	
ロード種目 (含む競歩)	40mm	
TR57 の種目 (マウンテン・トレイル)	規定なし。	

TR5.13 注意

(i) 規則 143 条 (TR5) 13 (a) の「1 つの剛性プレートまたはブレード」は、複数のパーツで構成される場合があるが、それらのパーツは、平行ではなく(例:個々のパーツは互いに上に積み重ねない)、1 つの平面に連続して配置しなければならない。※現行のルールブックに掲載の内容と変更なし。

(ii) フィールド種目のシューズの厚さについては、現在、これまでの規則に合致したシューズを使用している競技者を救済するため 12 月 1 日以降からの適用とする。リザルトへの「規定外」の注記は不要とである。(WA ルールに記載の内容を追記)

以上